

請願番号	請願 第 1 号
受理年月日	令和6年2月5日受理
付託委員会	総務企画常任委員会
紹介議員	下園和己、漆島政人、福田晋拓、山口初美
(件名) 吹上砂丘荘の閉館に関する条例案の採決延期請願書	
(請願の要旨) <p>令和6年2月1日午後7時から吹上中央公民館で、吹上砂丘荘とゆーぷる吹上の今後について、住民説明会が開かれ、多数の市民が来館し、初めて両施設の今後について、日置市の方針を聞かされました。</p> <p>内容は、吹上砂丘荘は、赤字続きに加え従業員不足と、老朽化対策に4億円はかけられないから、令和7年3月末で閉館し、ゆーぷる吹上については、健康施設につき今後も維持し、宿泊・温泉・プール・食堂は存続させるというものでした。</p> <p>この説明会では、多くの市民が吹上砂丘荘の存続を訴えましたが、そのたびに市長は頑なに拒否し、令和6年3月議会へ吹上砂丘荘の閉館に関する条例案を上程したいと言われました。</p> <p>参加者からは、クラウドファンディングや民間業者への経営打診など、市長の経験豊富な人脈や能力等を発揮して、存続の道を探すよう何人も求めましたが、それにも市長は応じませんでした。また、せめて今度の3月議会への上程を伸ばすよう何度も求めましたが、応じる気配はありませんでした。このことは、対話と挑戦を掲げた市長の信条にも反することとしますし、跡地利用の計画も白紙のまま、市民からのアイデアも募集することなく閉館したいということは、行政のエゴと考えられ、地域住民の意見を無視した民主主義の原則にも反するものと思いますので、次の事項を請願します。</p>	
(請願事項) <p>吹上砂丘荘を閉館するための住民説明会を開いてから、その条例案を日置市議会へ上程するまでの期間が、あまりにも短く、住民への周知が図れず、理</p>	

解も得られないため、吹上砂丘荘を令和7年3月末で閉館するという条例案を令和6年3月議会では、採択せず、令和6年6月以降の採決とすること。